

# 募集班長の模型部屋(第25回)

皆さんこんにちは。この間、新年度を迎えたと思ったらもう7月です。このコーナーもいつか更新しなきゃ・・・と思っていたのですが、予定より3ヶ月も遅れてしまいました。楽しみにしてくれていた皆様、申し訳ございません。単身赴任先のアパートに娘達がたまに遊びに来るのですが、「また戦車増えてる・・・」と白い目で見ます。いいじゃないか。お父さんの夜の楽しみを奪わないでくれ。

さて今回は、そんな増えた戦車たちの中から・・・

## 74式戦車改です。



74式戦車改は、90式戦車が配備になる頃に試作された戦車で、90式戦車に搭載されていた熱源映像装置やレーザー検知器、履帯外れ防止リング、サイドスカート等数箇所の改修を施した戦車で、数量が改修されました。現在でも静岡県戦車部隊で使用されています。実車ではサイドスクートを装着していないようですが、今回はサイドスクートを装着した状態で作成してみました。試作車両でいろんな形のサイドスカートがあったようですので、飽くまでイメージで・・・ということでご容赦ください。私は富士学校での幹部教育でこの戦車を使用した事があり、戦車マニア的にとてもうれしかったです。後進変速が2段であり、射撃した後の離脱行動が素早く出来る事が一番印象に残っています。後付装置が多いので、車内は更に狭かったですね・・・



ブレイブモデルさんから発売されている改造キットを使用して作成しました。実車で見る事が出来ないサイドスカートをつけた状態を見る事が出来ます。少し強そうなイメージを受けますよね。中東で使用されているいろんな改修を受けた旧式戦車のようにです。



改修キットをそのまま使用しましたが、フロントフェンダーだけは形状が変更されていたのでその改造が必要となりました。ゴムフェンダーもプラペーパーで再現し、ライド周りもエッチングパーツがなかったのでプラ板と伸ばしランナーで細部をディテールアップしました。



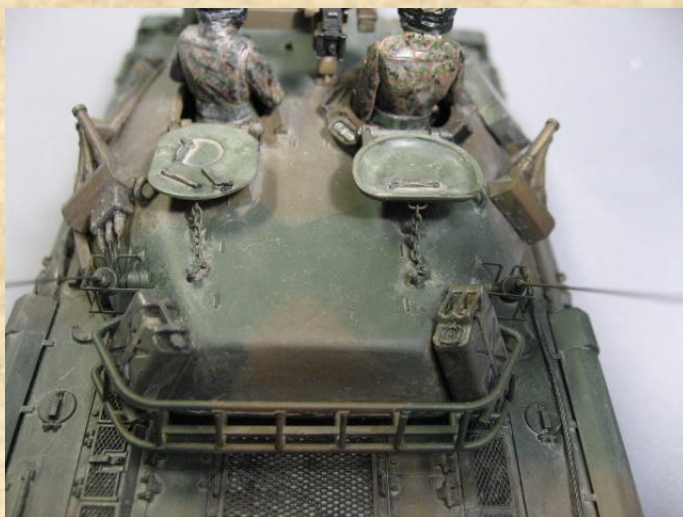
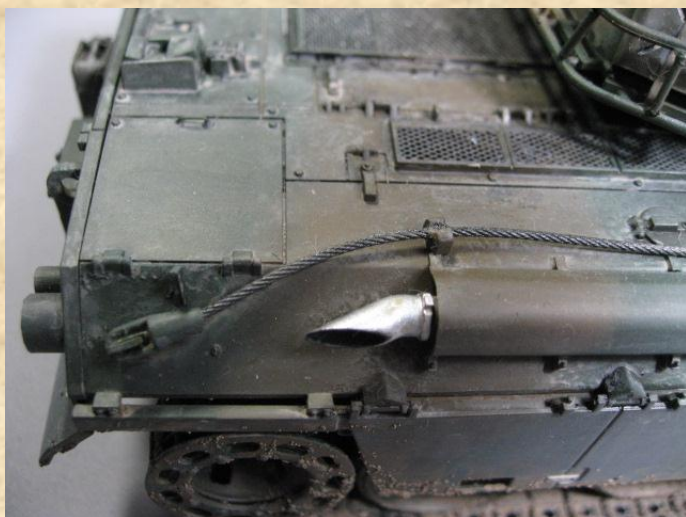
熱源映像装置の配線は、0.3ミリの鉛線を使用しました。今は便利な物が売られているんですね。曲げやすく配線のイメージにぴったりです。



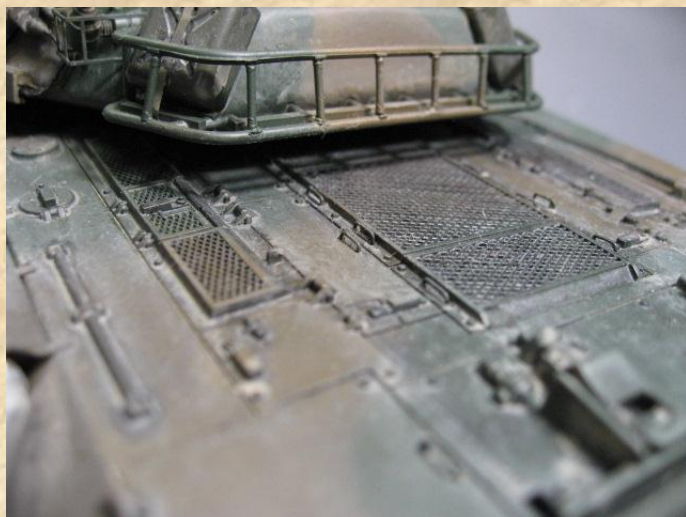
履帯はモデルカステンさんの組み立て連結式の物を使用しました。キットのベルト式は形状が違うのでこの改造だけでもぐっとリアルになります。ただ、サイドスカートをつけると苦勞して組み立てた履帯の1/3が見えなくなるんですね。リアルな撓みも見ることが出来ません。



車体全般にスミ入れの後、タミヤウェザリングスティックと、ピグメントで泥を表現しました。予備履帯もカステンのものと交換しました。



牽引ワイヤーはステンレスワイヤーと交換し、ハッチの安全チェーンも90式戦車の地雷処理ローラーキットで余ったチェーンを使用しました。



各種ハッチの「取っ手」は一回削り取り、真鍮戦で作り直しています。面倒な作業ですが、出来上がるとグッと精密度が上がります。砲塔バスケットも伸ばしランナーで修正しました。



戦車乗員は、10式戦車から持ってきました。頭部は74式戦車乗員から付け替えています。新装甲帽は74式戦車乗員には配分されないのです。銃機関銃は鉛筆の粉をこすり付けて金属感をだしています。



イメージが変わった74式戦車。なかなかカッコイイと思います。マーキングは第1機甲教育隊5中隊です。以前は戦車教導隊に配備されていた戦車が配置替えしたようです。幹部教育のときに乗った事があるのがこの車番（6495）でした。スカートは付いてなかったですけど・・・



いろいろ手を加えて、製作費用総額はかなりの額になってしまいました。製作期間も長く（仕事で手をつけられなかったこともあり・・・）て思い入れの強い作品になってしまいました。出来上がりにも不満もあり、課題もあるのですが、とりあえず完成させることが大事です。

さて、次回は・・・旧日本軍戦車を予定してます。またお付き合いください。